

## 口頭発表 A

### 無菌室入室患者の体験プロセスと看護介入の検討

キーワード：無菌室、体験、ストレス、副作用

○宮嶋恵<sup>1)</sup>、小杉純子<sup>1)</sup>、渡邊典子<sup>2)</sup>

新潟市民病院<sup>1)</sup>、新潟青陵大学<sup>2)</sup>

#### I. 目的

無菌室体験患者の入室から退室までの体験の語りを通して、現象学的に浮き彫りにして総括的に記述することである。又、今後の看護ケアについて検討することである。

#### II. 方法

1. 研究デザイン：現象学的アプローチによる質的研究
2. データ収集方法：収集期間は2010年8～10月、半構造化インタビューを研究参加者に各1回、時間は30～40分。面接内容は、無菌室入室時、抗癌剤治療～副作用出現期、回復時期の思いや不安などである。
3. 研究参加者：無菌室体験患者男性2名、女性2名。[A氏]33歳男性・急性骨髄性白血病、[B氏]59歳男性・悪性リンパ腫、[C氏]64歳女性・非ホジキンリンパ腫、[D氏]60歳女性・多発性骨髄腫。
4. 分析方法：Colaizziの7段階の手法を参考に行った。
5. 倫理的配慮：研究参加者へ日本看護協会の倫理指針に沿い、口頭及び文書を用いて説明、同意書にサインを貰った。又、新潟市民病院の倫理審査委員会の承認を得た。

#### III. 結果

無菌室入室から退室までの体験として、以下の7つの主テーマが見出された。

[主テーマ1：無菌室入室に対する様々な思い]これは、無菌室体験患者や医療者の言葉による恐怖心の膨張の一方で、病気回復のため無菌室入室は必然であるというアンビバレントな思いを表している。

[主テーマ2：無菌室に対する要望と不満]これは無菌室に対し設備配置や採光が不十分であるなど、生活空間への評価を表している。

[主テーマ3：想像以上の副作用による精神的・身体的ダメージ]これは基本的欲求の崩壊、脱毛による絶望感、治療からの逃避、精神的パニック状態を表している。

[主テーマ4：マイナスイメージのみの無菌室]これは外界と直接繋がる（人、音）ことが出来ないストレス、恐怖、隔離された独房というマイナス評価の無菌室への思いを表している。

[主テーマ5：乗り越えるための自助努力]これは無菌室が副作用に苦しむ自分を保護する安全地帯、ありのままをさらけ出せる場所だと受容する努力を表している。

[主テーマ6：医師・看護師から与えられる安心と勇気]これは医師・看護師の表情や態度、説明などのコミュニ

ケーションは闘病意欲や安心に繋がることを表している。

[主テーマ7：自由な自分を取り戻せたこの上ない喜び]

これは、白血球の上昇による無菌室退室、囚われから自由の身になる開放感とこの上ない喜びを表している。

#### IV. 考察

無菌室入室期の主テーマ1は、感染症対策のために必要とはいえ、患者にとってのストレスは計り知れない。そのため、医療者の説明の言葉には注意が必要である。治療期の主テーマ2は、無菌室本来の目的を損なわずに改善策を検討する必要がある。主テーマ3～6は、看護師としての姿勢が手技的なケアより患者の満足度の認識に大きな影響を及ぼす<sup>1)</sup>、患者の心理的つらさは、身体状況がきつくなるにつれて増してくる<sup>2)</sup>などの指摘のように、看護師の患者に接する態度や姿勢、言葉による精神的ケアが重要となることを表している。回復期の主テーマ7は、無菌室退室は患者のこの上ない喜びをもたらすことを示しているが、それは同時に退院へとつながる。退院後の家庭生活や合併症、再発へのストレスがある<sup>3)</sup>ことから不安なく過ごせるセルフケアの援助が必要である。以上より、①無菌室入室時の説明の言葉やパンフレット内容の再考②無菌室がよりよい生活空間となるような工夫③病状経過に合わせた繰り返しの説明と患者への態度や姿勢の重要性の再認識の看護の検討が必要である。なお、②は管理者との検討も視野に入れる必要がある。

#### V. 結論

無菌室体験として、7つの主テーマが見出された。これは、入室から退室という時間軸の経過に沿い、患者はつらい体験の中で、何とか乗り越えようとする自助努力をしていること、又、そのような患者の気持ちに添い、時期に応じた看護介入を行うことが大切である。

#### [引用文献]

- 1) 松田光信 et al.造血幹細胞移植を受けた患者が認識する無菌室の中で看護師から受けたケア. 日本看護学会誌. 2003 ; 12(1)22.
- 2) 赤穂理絵. <造血幹細胞移植後合併症へのアプローチ>造血幹細胞移植における精神心理的問題. 内科. 2009 ; 104 (2)303.
- 3) 今井淑恵. 移植に伴う精神的ストレスに対する配慮と看護～治療経過に沿ったケアのアプローチ～. がん看護. 2000 ; 5(5)381.